

型式適合認定書

BCJ 基型-JS04649
令和元年10月 4日

株式会社 ハウステック
代表取締役社長 新井 仁 様

一般財団法人 日本建築センター
理事長 橋 本 公 博



下記の型式については、建築基準法第68条の10第1項(同法第88条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づき、同法第1章から第3章までの規定又はこれに基づく命令の規定のうち同法施行令第136条の2の11に掲げる一連の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

型01Cad0c0074649

2. 認定をした型式に係る建築物の部分又は工作物の部分の種類

合併処理浄化槽

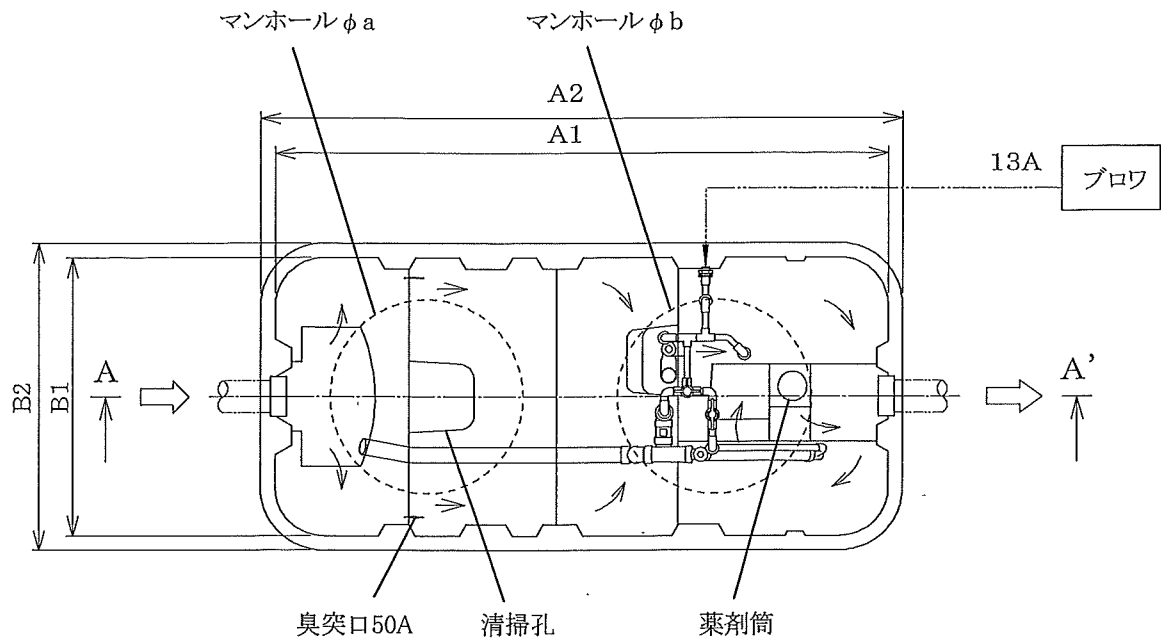
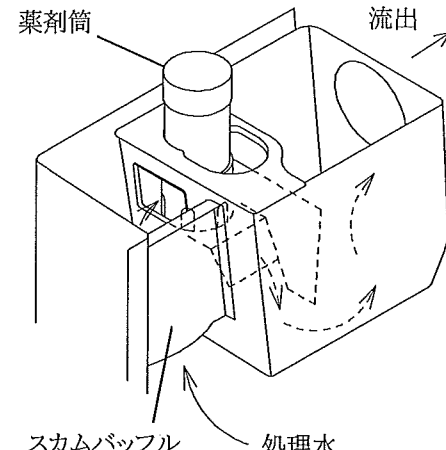
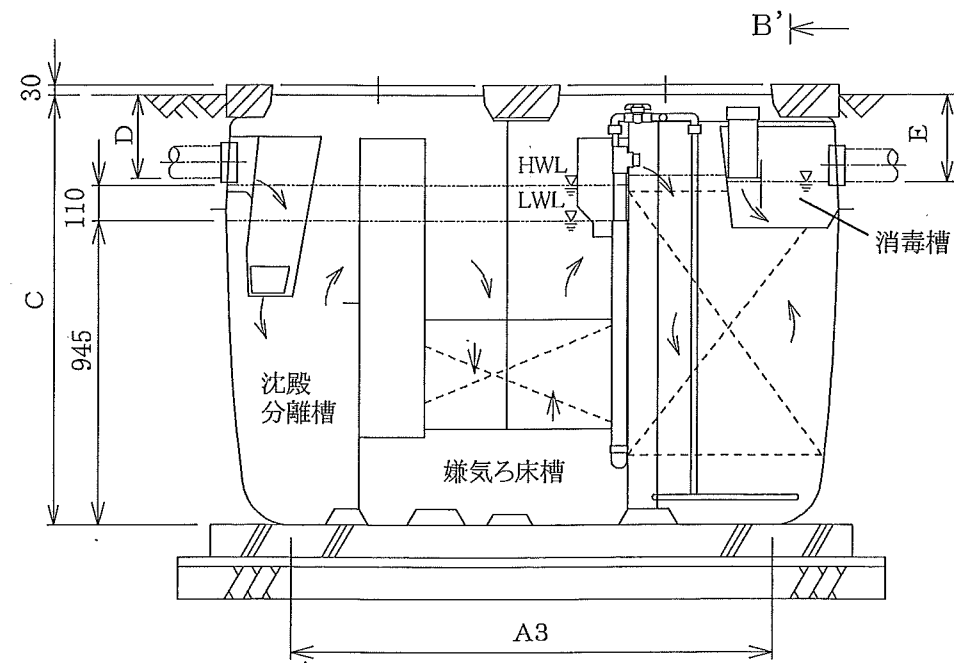
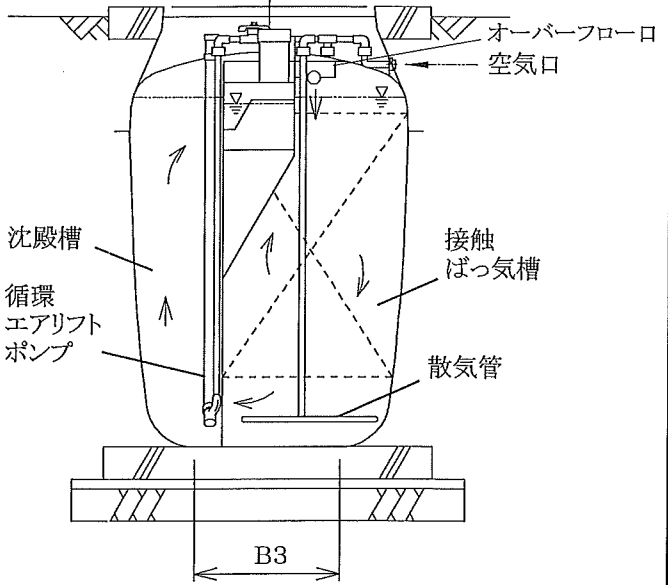
3. 認定した型式の内容

小規模合併処理浄化槽 KRS - 7B型

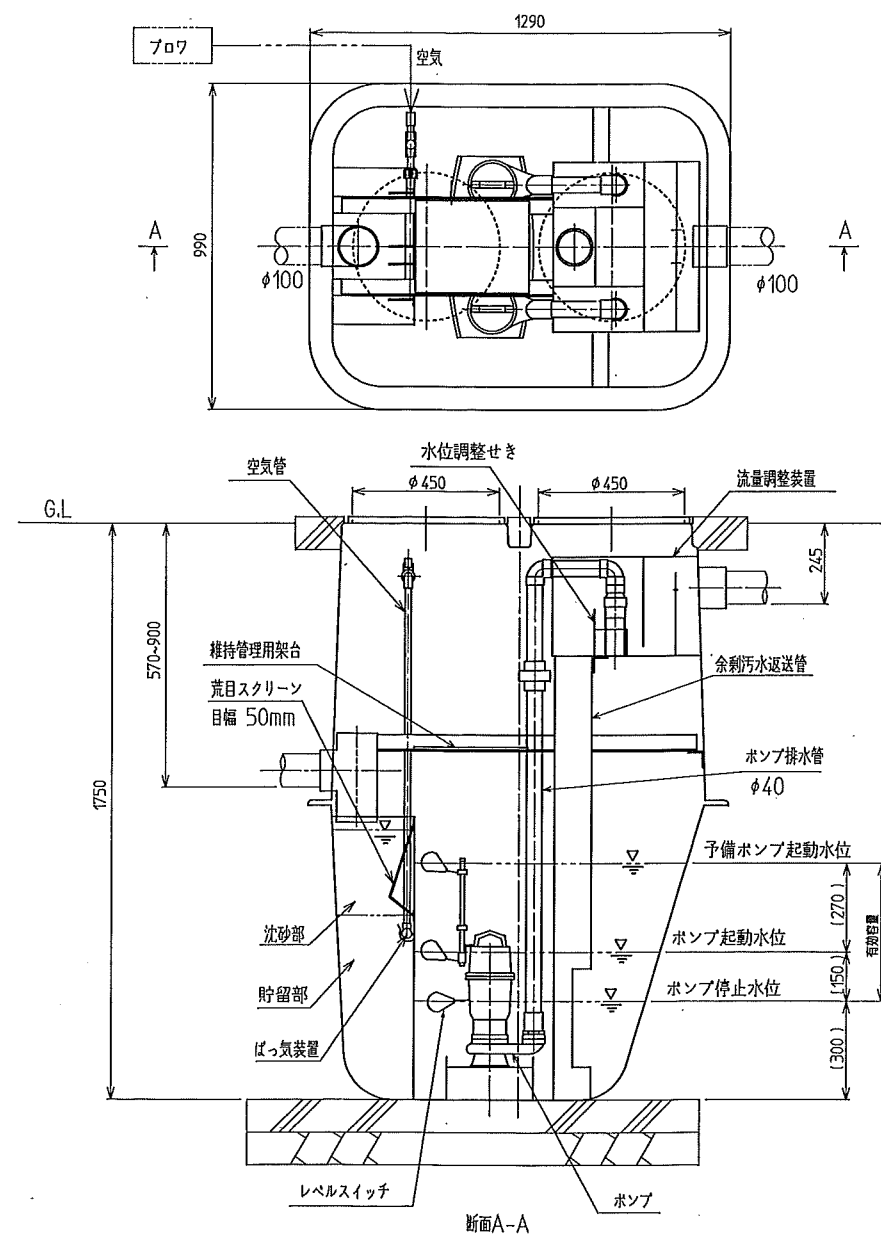
詳細内容は、別添仕様書及び図面による。

4. 一連の規定に適合するための適用条件

浄化槽法の規定に基づく適正な工事および適正な保守点検を実施すること。

型式適合認定書別添仕様書及び図面		建築基準法施行令第35条第1項の大臣認定による沈殿分離・嫌気ろ床・接触ばっ気方式 【大臣認定番号（認定年月日）：DW3N-0177（平成31年3月29日）】	
			
			
消毒槽詳細図		消毒槽詳細図	
A-A'断面図		B-B'断面図	
仕 様 表		仕 様 表	
処理対象人員		5	
有 効 容 量		7	
沈 殿 分 離 槽		0.245	
嫌 気 ろ 床 槽		0.563	
ピークカット部		0.112	
接 触 ば っ 気 槽		0.290	
沈 殿 槽		0.170	
消 毒 槽		0.011	
A 1		1,900	
A 2		1,990	
A 3		1,495	
B 1		860	
B 2		950	
B 3		540	
C		1,335	
D		260	
E		270	
a		600	
b		600	
材 質		DCPD	
板 厚		3以上	
材 質		DCPDまたはFRP	
板 厚		2以上	
形 状		網様円錐台状/ヘチマ様円筒状※	
材 質		PPまたはPE	
散 気 管		PVC、PPまたはPE	
長 さ		452×420	
型 式		容積式	
吐 出 風 量 (L/分)		48以上	
材 質		PVC	
内 径		100	
材 質		FRP、PP、DCPDまたは鋳鉄	
注) 寸法の単位はmm、容量の単位はm³とする。 ※ 嫌気ろ床槽/接触ばっ気槽		注) 寸法の単位はmm、容量の単位はm³とする。 ※ 嫌気ろ床槽/接触ばっ気槽	
特 記 事 項		・振動、騒音、防虫、防臭対策は必要に応じて行う。 ・流入、設置条件によりオプション槽を組み合わせる。 ・所定のばっ気強度が確保されるブロワを使用すること。	

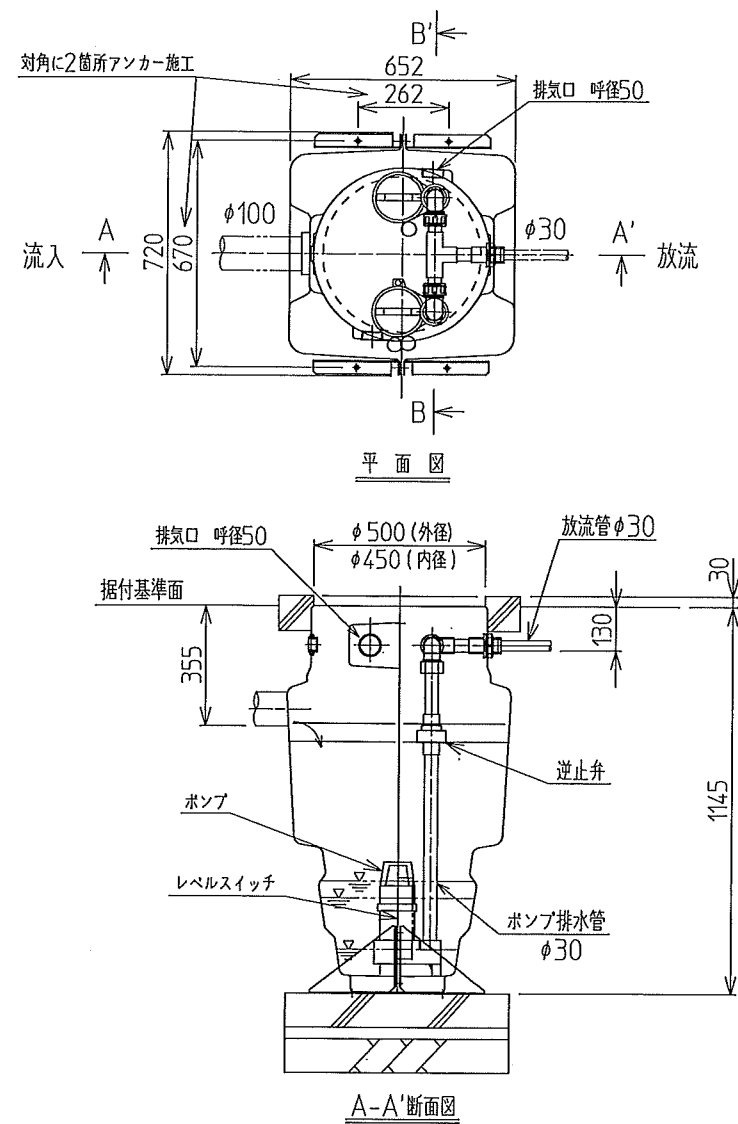
オプション図(原水ポンプ槽例)



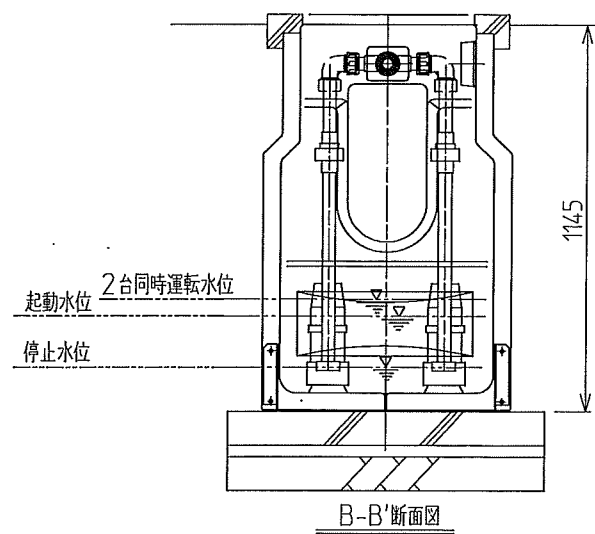
No.	項目	単位	仕様
1	有効容量		
1.1	原水ポンプ槽容量	m ³	0.398
1.2	沈砂部容量	m ³	0.020
1.3	貯留部容量	m ³	0.060
2	フロー		30 L/分
3	ポンプ		32W 単相100V (1台) 140/90L/分 (50/60Hz) X4m 250W 単相100V (2台交互運転)
4	槽材質		FRP又はPVC
5	散気管		PP又はPVC
6	継手類		PVC
7	マンホールフタ		ポリコン、鋳鉄、PP又はFRP

※ポンプ槽及びポンプの形状・仕様は、変更となる場合があります。

オプション図(放流ポンプ槽例)



No.	項目	単位	仕様
1	有効容量		
放流ポンプ槽容量	m ³	0.107	
2	質量	kg	30.0
3	空容量	m ³	0.30
4	ポンプ		φ32X80L/分 揚程2.5/4.0m(50/60Hz) (32PRWA2.13S-91) 130W X 単相100V(2台交互) コード長10m 定格電流 2.7/2.7A(50/60Hz)
5	槽材質		DCPD
6	排水管		PVC(硬質塩化ビニル)、逆止弁付
7	マンホールフタ		PP



※ ポンプ槽の形状は、槽材質により異なる場合がある。
※ 放流ポンプ槽は、浄化槽本体接合型もある。

認 定 書

群馬県高崎市栄町1番1号
株式会社ハウステック
代表取締役社長 新井 仁

さきに申請のあった型式の浄化槽については、浄化槽法第16条の規定に基づき、
下記のとおり認定の更新を認める。

令和6年10月1日

国土交通省関東地方整備局長
岩崎 福久



記

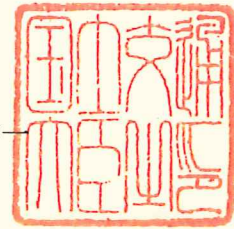
浄化槽の名称	更新前の認定番号	更新後の認定番号
沈殿分離・嫌気ろ床 ・接触ばっ気方式 KRS-5A型	3-19-H-003	3-24K-H-001
沈殿分離・嫌気ろ床 ・接触ばっ気方式 KRS-5B型	3-19-H-003-1	3-24K-H-001-1
沈殿分離・嫌気ろ床 ・接触ばっ気方式 KRS-7A型	3-19-H-003-2	3-24K-H-001-2
沈殿分離・嫌気ろ床 ・接触ばっ気方式 KRS-7B型	3-19-H-003-3	3-24K-H-001-3

認 定 書

国 住 指 第 3 5 6 2 号
平成 31 年 3 月 29 日

株式会社ハウステック
代表取締役社長 山口 晃 様

国土交通大臣 石井 啓一



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 35 条第 1 項の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

DW3N-0177

2. 認定をした構造方法等の名称

沈殿分離・嫌気ろ床・接触ばっ気方式 KRS 型/5～50 人槽/合併処理浄化槽/汚物処理性能における構造方法

3. 認定をした構造方法等の内容

別添のとおり

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

構 造 方 法 の 概 要

1. 件 名	沈殿分離・嫌気ろ床・接触ばっ気方式 KRS型／5～50人槽 ／合併処理浄化槽／汚物処理性能
2. 処 理 区 分	合併処理
3. 設 計	株式会社ハウステック
4. 維持管理頻度等	保守点検頻度 : 5～20人 4ヶ月に1回以上 21～50人 3ヶ月に1回以上 汚泥引抜頻度（設計値） : 年1回 （汚泥引抜対象単位装置名：沈殿分離槽、嫌気ろ床槽）
5. 構造方法の概要	沈殿分離槽、嫌気ろ床槽、接触ばっ気槽、沈殿槽および消毒槽 を組み合わせた合併処理浄化槽
6. 参 考 事 項	・ 7. 装置の概要の「(4) 流入水質」は標準流入水質とし、尿尿及びこれと併せた雑排水（工場排水、雨水、その他の特殊な排水を除く。）とする。 ・ 用語説明 BOD：生物化学的酸素要求量 T-N：全窒素 SS：浮遊物質 COD：化学的酸素要求量 pH：水素イオン濃度指数 PP：ポリプロピレン ピーカット：集中して排出される時間帯の汚水を溜め、 汚水を一定量だけ移送し処理性能の安定化を図る機能 ピーカット部：集中して排出される時間帯の汚水を溜める部分

7. 装置の概要	
(1) 処理方式	沈殿分離・嫌気ろ床・接触ばっ気方式
(2) 処理対象人員	5～50 人
(3) 日平均汚水量	1.0～10.0m ³ /日
(4) 流入水質	BOD 200mg/L、T-N 45mg/L、SS 160mg/L、COD 100mg/L
(5) 処理水質	BOD 20mg/L 以下、T-N 20mg/L 以下、SS 15mg/L 以下、COD 30mg/L 以下 pH5.8～8.6、大腸菌群数 3,000 個/cm ³ 以下
(6) 処理工程	<pre> graph TD Inflow[流入] --> Sed1[沈殿分離槽] Sed1 --> Ana[嫌気ろ床槽] Ana -- "嫌気汚泥移送 エアリフトポンプ" --> Sed1 Ana -- "ピークカット移送 エアリフトポンプ" --> Cont[接触ばっ気槽] Cont --> Sed2[沈殿槽] Sed2 -- "循環エアリフトポンプ" --> Cont Sed2 --> Disin[消毒槽] Disin --> Outflow[放流] </pre> ▨ : ピークカット部を示す。